



桜尾小学校PTA 県教育長表彰を受賞



6月13日、桜尾小学校PTAが県教育長表彰を受賞され、市教育長に受賞報告を行いました。同校PTAは、長年「あい」のある生活づくりを合言葉にしており、令和5年度は「Well-Being(幸福で充実した生活)」につながるPTA活動」をテーマに活動しました。同年11月に開催された県PTAフォーラムゴゼき・みの・ぐじょう分科会では実践報告を行うなど、このような活動が評価され、受賞となりました。

山県市老人クラブ 軽スポーツ大会



6月5日、市総合運動場で、山県市老人クラブ軽スポーツ大会が行われ、ゲートボール、ペタンク、グラウンドゴルフの3種目を競い合いました。上位入賞チームや選手は、10月に開催される岐阜地区老人クラブ軽スポーツ大会に出場します。【ゲートボール】1位東深瀬長寿会【ペタンク】1位小倉A 2位小倉B 3位小倉D 4位小倉C【グラウンドゴルフ】1位大澤泰弘 2位田上隆 3位宇野克巳(上位19人が出場)

岐阜信用金庫 電子ピアノ4台を寄贈



6月4日、みやま保育園で、岐阜信用金庫から市立保育園に電子ピアノ4台の寄贈があり、寄贈式と感謝状贈呈式を行いました。同社は創立100周年記念として、地域の課題解決につながる寄贈品を贈る事業をしており、子どもたちが音楽とふれ合う保育環境整備のため寄贈されました。当日は、寄贈されたピアノの伴奏によるお礼の歌と押し花をプレゼントしました。



山田幸喜子さんは「これからも家族仲良く、楽しく過ごしていきたい」と話されました。

赤ちゃんほほえみ応援金 第6子贈呈式

6月7日、市役所公室で、赤ちゃんほほえみ応援金の贈呈式を行いました。

この応援金は、第3子以降の新生児出産に対して支給するもので、子どもが増えるほど、金額が大きくなります。今回は、応援金を拡充して以来初めて、山田真靖・幸喜子夫妻が第6子を出産され、応援金を贈呈しました。



富岡地区自治会連合会が
嘆願書を提出



6月18日、富岡地区自治会連合会長の鹿島史行さんが、西深瀬地区の農免道路と県道との三差路交差点の安全確保について、市長に嘆願書を提出されました。

この嘆願書は、今後、農免道路の拡幅や東海環状自動車道の全線開通により付近の交通量の増加が見込まれることから提出されたものです。また、鹿島会長は同日、1,204人の富岡地区自治会員の署名とともに、同交差点への信号機設置の嘆願書を山県警察署に提出されました。

山県市少年の主張大会
～わたしの主張2024～



6月15日、美山コミュニティセンターで、山県市少年の主張大会が行われました。12～13ページに優秀賞を受賞した2人の作文を掲載しています。(敬称略)

【優秀賞】夏目梨央(高富中③)、横山花名(伊自良中③) 【奨励賞】市川日葵(高富中①)、尾関将成(高富中②)、村瀬克宏(高富中②)、上野海晴(伊自良中③)、高井郁弥(美山中③)、三島優晴(美山中③)、山元直子(高富中③)

おいしいサツマイモの生産を目指して
城北高校生がサツマイモ畑の草引き



6月14日、洞田地区の畑で、県立岐阜城北高校の3年生15人がサツマイモ畑の草引きを行いました。

同校の生活デザイン科食生活コースは、地域の食材を使った商品開発を行っており、秋の城北Co-Marketでのサツマイモを使ったスイーツを販売予定です。当日は、商品開発に使用するサツマイモ畑で、雑草に栄養が取られないよう草引きを行いました。

もっといっぱい
まちの話題

紙面の他にも、
市HPでまちの話題
を紹介しています。

- マーサ21コラボ①
- 6/2 親子で田植え体験
& 田んぼ遊び
- 地域への感謝を込めて
6/7 体験農園みとかで
イチゴ狩り体験
- 子どもたちの明るい
6/13 未来を守る
SOSの出し方教育
- 第65回歯と口腔の
6/20 健康づくり
優良児童2次審査会

浸水疑似体験で
水害への備えを学ぶ



6月19日、桜尾小学校の4～6年生35人が、中部地域づくり協会地域づくり研究所長の犬飼一博さんから、水害への備えを学ぶ授業を受けました。

この授業では過去の水害の話聞いたほか、ペットボトルを使って竜巻や雲を作る実験を行い、水害が起こる仕組みや水害時の適切な行動を学びました。児童は「水害時、どう行動すれば良いか分かった」と学びを得ていました。

矢崎健真さんが
JCL全国大会優勝



6月19日、第5回ジュニアチャンピオンズリーグ(JCL)全国大会(令和5年9月3日開催)に出場した矢崎健真さんが、市教育長に結果報告を行いました。

矢崎さんは、同大会のU-9(9歳以下)27.5kg級で優勝されました。教育長から決勝戦や今後のことを聞かれると、「決勝戦は怖くはなかった。相手のスキを狙って攻めた。将来は世界王者になりたい」と話されました。

山県市さくらカンパニー認定企業を募集

市では、ワーク・ライフ・バランスや男女がともに働きやすい職場づくりに力を入れてい事業者を、山県市さくらカンパニーとして認定しています。

認定されると、働きやすい職場として広くPRでき、従業員の意欲の向上や、人材の確保などにつながるメリットがあります。

関企画財政課 Tel 22-6825
4416

▼対象

市内に本社か事業所があり、ワーク・ライフ・バランス推進や女性活躍推進に積極的に取り組んでいる企業・団体など

▼申請手続き

申請書類を記入し、企画財政課窓口へ提出してください。申請書は、市HPで入手できます。

▼募集期間

8月1日(木)～10月31日(木)



市HP

申請から認定までの流れ	
8月1日(木)～10月31日(木)	募集期間
11月～令和7年1月	審査・認定企業の決定
2～3月	認定式
3～4月	広報やまがた、市HPなどに掲載

※認定の有効期間は3年間です。



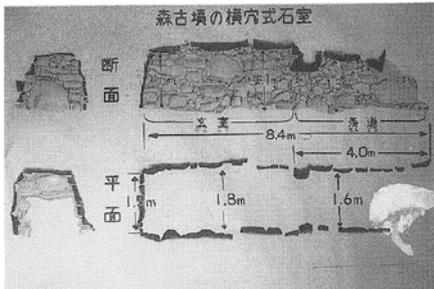
たくさんのお待ちしています！

一連 載 わがまちの 歴史再発見

18 森古墳(高富地区)
市指定史跡



▲森古墳



▲森古墳実測図

市内には先人から受け継がれてきた貴重な歴史遺産が多くあります。わがまちの身近な歴史を再発見し、未来へつないでいきましょう。

関生涯学習課文化財調査室 Tel 32-9008

森古墳は、古墳時代後期(六世紀頃)に築造されたと考えられる横穴式石室を備えた円墳です。高富地区内南方の山麓にあり、地元の人からは、ツカアナと呼ばれるようです。

この古墳の特徴は、死者を安置する玄室と玄室につながる通路である羨道(せんどう)それぞれの奥行きがほぼ同じであることや、玄室入口部分の両側壁や天井部分分が内部へ突出していることです。石室に使用されている天井石は大きく、2～3トンもある石だといわれています。また、奥壁にも大きな一枚石が組み込まれています。

ここに眠る主は豪族や村長など、一定の権力を持つ者であったと考えられるため、森古墳は当時の地域のまとまりを物語っています。

森古墳は過去の人々の足跡であり、地域のアイデンティティや誇りを感じることができる場所でもあります。私たちのルーツや文化的背景を知り、尊重するためにも歴史遺産を守り、次世代に伝えていきたいですね。